参考資料2

# 「第1回 岐阜市未来のまちづくり懇談会」の主な意見（構想関連）と構想改定版(素案)への反映状況

令和８年１０月６日　企画部 未来創造研究室

## 構成

| 01 | 02 | 03 |
| --- | --- | --- |
| 全体について | まちづくりの基本的な考え方について | 分野ごとのまちづくりの方向性について |

**本資料に掲載していない意見**につきましても、**各担当部局**に**共有**するとともに、これらの意見を参考にしながら、本市の将来を見据えた**施策の見直し**等を**検討するよう依頼**しております。

また、一部のご意見については、既に取組を進めています。例えば、「学生が市政に意見を述べたとき、そのフィードバックがあるとよい」とのご意見については、子ども未来部において、令和8年4月から、**こども・若者から意見を聴く仕組み**「岐阜市子ども・若者モニター『オトノネ』」を開始しています。

**聴取した意見**については、施策等への**反映状況**を**メンバーにフィードバック**することとしております。

# 01 全体について

| | 主な意見 | 反映状況 |
|---|---|---|
| 01 | 今後の改定に当たっては、バックキャストの視点や、**一見マイナスに見える事象をプラスに捉える視点**を持つことが重要である。また、新しい価値を創造するだけでなく、今ある地域資源を生かし発展させる視点や、**異質なものを組み合わせて**新たな価値を生み出す**アウフヘーベン**の視点も大切である。 | 構想改定版(素案)では、人口減少や社会保障費の増加などの**課題**を**「希望ある未来を切り拓く契機（チャンス）」**と捉え、**課題を前向きに受け入れ、みんなで知恵を絞り、前へ踏み出す**ことを掲げております。<br>また、アウフヘーベンの考え方として、例えば、**歴史や伝統といった本物志向の魅力と先進技術の実装を両輪として取り組む**ことを記載しています。<br>P12「まちの未来をどうやって考える？」<br>P24「人や企業に選ばれ共に進化する岐阜市」 |
| 02 | **定量的なファクト**に基づいた**政策的な判断や行動**が求められる。 | 構想改定版(素案)では、**客観的なデータ（根拠）に基づいて効果的な取組を見極める**「EBPM」の視点を大切にし、人流データやBIツール等を活用した**エビデンスに基づく政策立案(EBPM)を推進**することを掲げております。<br>P15「改定に向けて」<br>P50「行政経営の視点」 |

# 02「まちづくりの基本的な考え方」について

| | 主な意見 | 反映状況 |
|---|---|---|
| 01 | **「成長」**という言葉について、企業の捉え方が、かつてのような売上の最大化や規模の拡大だけでなく、持続可能な形で事業や地域を継続・発展させる意味に変化している。「成長」という言葉の**受け手への伝わり方**と、発信側としての**概念的な整理**を行う必要がある。 | 構想改定版(素案)では、「成長」を、岐阜市が活力を維持し「選ばれるまち」として進化し続けるため、先進技術と本物志向の**魅力**を**融合**し、「岐阜市ならでは」の深い**共感**を**創出**し、この共感が新たな活力を呼び、民間投資を通じて**多様な挑戦が芽吹く好循環**を確立するものと整理して記載しております。<br>P24「人や企業に選ばれ共に進化する岐阜市」 |
| 02 | 改定案(第1回まちづくり懇談会)の「変化を実感できる」点は良い。**目に見える成長だけでなく**、何となく住みやすくなったと感じるような**目に見えない幸福**も**重要**である。 | 構想改定版(素案)では、心身の健康と温かい交流を育み、**Well-being**に満ちた活力を生み出し、すべての市民が日々の**幸せ**を**実感**し、前向きなエネルギーがまち全体に溢れる社会を実現することを掲げております。<br>P27「豊かさと希望と生きがいに満ちあふれた持続可能な岐阜市」 |

# 03「分野ごとのまちづくりの方向性」について

**教育・子育て**

| | 主な意見 | 反映状況 |
|---|---|---|
| 01 | 岐阜市の行政計画の策定に関連し、学生が市の現状を学び、ライフステージごとの対策を考える機会があり、**地域のために何ができるかを主体的に考えることで学生たちの意欲が高まった**と感じた。**パブリックコメントの結果**や**計画への反映**、生活の変化などについて市からフィードバックがあると、学生の岐阜市への愛着や未来のまちづくりの担い手意識が深まる。 | 構想改定版(素案)では、**意見表明権**をはじめとした、子どもの権利を尊重するとともに、関係する施策について**子どもからの意見聴取**及び**反映**を**推進**することを掲げております。<br>P33「子どもと教育を中心とするまちづくり」 |
| 02 | **小中学校区**は**地域コミュニティの核**であり、児童数減少の中でも**可能な限り残してほしい。**一方で空き教室の増加などへの対応として、公民館機能、放課後の子どもの居場所、地域交流の場など、**学校**を**地域の公園**のように**活用できる仕組み**が考えられる。 | 構想改定版(素案)では、**学校**や公民館等を**拠点**としながら、学校・家庭・地域が一体となり、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等を活かした人材育成と**コミュニティの活性化**を**促進**することを掲げております。<br>P33「子どもと教育を中心とするまちづくり」 |

# 03「分野ごとのまちづくりの方向性」について

教育・子育て

| | 主な意見 | 反映状況 |
|---|---|---|
| 03 | 少子化により1学年1クラスとなると、クラス替えができず人間関係が固定化される課題がある。**異学年交流・縦割り**の仕組みを活用し、**学年を超えた関係づくりを進める**ことが重要である。 | 構想改定版(素案)では、義務教育学校である藍川北学園と藍東学園において、小中一貫教育の取組を踏まえ、**異年齢交流や教科担任制、個別最適・協働的な学び**を通じて、子どもを主語にした「**未来の学校**」**づくり**を進めることを掲げております。<br>P32「教育のリ・デザイン(未来の教育・未来の学校づくり)」 |
| 04 | 小中高の頃から**岐阜を知る機会**をつくることで、**岐阜に残りたい**と思う若者が増えるのではないか。 | 構想改定版(素案)では、「岐阜MIRAI's」などを通じて、**岐阜市全体**を**教室**に、**まちの人**、**もの**、**こと**を**先生**に見立てた**探究的な学び**を進めることを掲げております。また、市民の**シビックプライド**を**醸成**し、**住み続けたいと思う人を増やす取組**を推進することを掲げております。<br>P33「子どもと教育を中心とするまちづくり」<br>P51「行政経営の視点」 |

# 03「分野ごとのまちづくりの方向性」について

健康・福祉・医療

| | 主な意見 | 反映状況 |
|---|---|---|
| 05 | **岐阜市民病院**は、クリニックから何かあった時にお願いする**最後の砦**であり、**市民が安心して暮らせるよう**、医師・看護師等の人材確保、設備、経営面を含めた**バックアップ**と**機能強化**を期待する。 | 構想改定版(素案)では、地域の医療を支える役割を担う岐阜市民病院は、関係機関と連携して市民のニーズに応え、小児医療、精神科医療を含む**幅広い医療**を提供するとともに、急性期病院として、専門的な手術、がん医療などの先進的かつ**高度な医療**や**救急医療**を提供することを掲げております。<br>P37「いのちを支える安心の医療体制」 |
| 06 | 見守りは高齢者や子どもだけではなく、全ての人が互いの存在を知り、**少しの変化に気づくことが大切**。小さな地道な活動の蓄積が、**安心安全で住み続けたいまち**につながる。 | 構想改定版(素案)では、**地域に身近な相談役**となるコミュニティソーシャルワーカーを配置し、**本人や家族に寄り添い**ながら、関係団体や地域の多様な主体と連携して支援につなげ、**地域力の向上**と**支え合いの仕組みづくり**を推進することを掲げております。<br>P35「高齢者や障がいのある人が安心できるまちへ」 |

# 03「分野ごとのまちづくりの方向性」について

**市民協働・防災・環境**

| | 主な意見 | 反映状況 |
|---|---|---|
| 07 | 長良川や金華山など、**地域の良さ**を感じてもらえる資源がある。岐阜市に来た人を大事にすることが重要であり、その魅力を生かしながら、若い世代の転入をさらに進め、岐阜市に来てよかった、岐阜市で暮らすことが**楽しいと思えるまち**にする必要がある。 | 構想改定版(素案)では、すべての世代の**シビックプライド**の醸成につながるよう、**地域での様々な活動**を実践する機会を創出することを掲げております。<br>P39「一人ひとりの地域への想いをカタチに」 |
| 08 | **地域・自治会**には、命を守る、生活を守る、子ども・若者を守り育てるという**根源的な役割**がある。防犯防災、福祉、教育・つながりづくりを地域でどう進めるかといった視点も持ってほしい。 | 構想改定版(素案)では、まちづくりにおいて行政の重要なパートナーであり、地域コミュニティの根幹を成す**自治会の重要性**を**認識**し、地域住民の自治会への加入及びデジタル技術の活用による自治会活動への参加がしやすい環境づくりなど、その機能を果たせるよう支援することを掲げております。<br>また、まちづくり協議会や自治会などの活動を支援し、地域の中に蓄積される「**ソーシャルキャピタル**」を高めることで、**平時から支え合い、地域の未来を自分たちでつくる住民自治の深化**を進めることを掲げております。<br>P39「つながり支え合う地域コミュニティへ」 |

# 03「分野ごとのまちづくりの方向性」について

産業・労働・交流

| | 主な意見 | 反映状況 |
|---|---|---|
| 09 | 岐阜市には多様な産業があるが、人材不足、事業承継の停滞、デジタル化の遅れなど**企業課題は複雑化**している。**地域の稼ぐ力**を**再構築**する必要がある。 | 構想改定版(素案)では、デジタル化や事業承継、再生可能エネルギーの活用などを後押しし、**地域内に新たな取引や仕事を生み出す**ことで、地域経済が**持続的**に**循環**する「**自ら稼ぐ地域産業」づくり**を進めることを掲げております。<br>P43「「自ら稼ぐ地域産業」への支援」 |
| 10 | 新卒採用が難しいだけでなく、転職等により人材が定着しにくいことも企業の課題である研修等の人的資本投資をしても短期離職されるケースがあり、**人材が長く働ける会社づくりへの支援**が必要である。 | 構想改定版(素案)では、将来の産業構造の変化にも適応し、理工系・デジタル分野の人材、新たな価値を生み出すことのできる柔軟で創造性の高い**人材**を**育成**するとともに、組織や地域の枠を超えた多様な経験や知見との共創により、**地域企業の変革を促進**することを掲げております。<br>P43「民間の新しいチャレンジを応援」 |
| 11 | 岐阜県の食料自給率は国より低く、岐阜市を中心に**地産地消**をさらに推進する仕組みが必要である。<br>環境に配慮した農業や、高齢者及びリタイア層などが農業に**関わりやすくなる仕組み**をつくり、市民や県民の総合力で農業を推進していくとよい。 | 構想改定版(素案)では、岐阜市近郊で生産される特産農産物を「**ぎふベジ**」としてブランド化し、地産地消の推進を掲げております。<br>また、関係機関と連携した技術指導、農地や資金調達等の支援により、後継者育成だけでなく非農家からの就農も含めた**多様な人材の就農**を推進し、農業の次世代の担い手の確保・育成を図ることを掲げております。<br>P44「食を支え、未来へつながる農業」 |

# 03「分野ごとのまちづくりの方向性」について

産業・労働・交流

| | 主な意見 | 反映状況 |
|---|---|---|
| 12 | 岐阜には枝豆、トマト、いちごなど、知られていない良い農産物や、新規就農者が努力している品目がある。行政、企業等と**連携・共創**しながら**発信**していくことが課題である。 | 構想改定版(素案)では、近隣市町(6市3町)で**連携**してPRを強化し、特産農作物の**ブランド力向上**と**販路の拡大**支援により、高付加価値化及び収益性向上を図ることを掲げております。<br>P44「食を支え、未来へつながる農業」 |
| 13 | 鵜飼など岐阜の観光資源は、岐阜駅に降りた時点で十分に伝わっていない。SNS以前に、駅前や案内表示など**基本的なシティプロモーション**で改善できることがある。 | 構想改定版(素案)では、効果的な発信を**官民一体**となって行うことで、**本物志向の観光づくり**を推進することや、行政組織における**プロモーションスキルの向上**を掲げております。<br>P45「人を呼び込み、地域の活力を生み出すまちへ」<br>P51「行政経営の視点」 |
| 14 | FC岐阜をはじめ、バスケットボール、バレーボールなどプロスポーツチームが増えている。各部局では支援や連携があるものの、**スポーツ**を**まちづくり**全体とどのように**リンク**させ、ひいては構想に加えていけるか検討してほしい。 | **地元プロスポーツの活性化**や**競技スポーツの振興**をはじめ、まちなかの広場等を活用したアクションスポーツなど、市民の誰もが身近な場所で気軽にスポーツができる環境整備等を通じて、**交流機会の増加**を図るとともに、**スポーツコンベンション**や**市外からの誘客**を推進することを掲げております。<br>P45「人を呼び込み、地域の活力を生み出すまちへ」 |

# 03「分野ごとのまちづくりの方向性」について

**都市基盤整備・交通**
**中心市街地活性化**

| | 主な意見 | 反映状況 |
|---|---|---|
| 15 | 転入超過はマンション建設による人口増の影響が大きい可能性がある。新築マンション供給に頼った**転入超過はいずれピークアウト**する恐れがあり、**持続可能な都市の発展維持策**を考える必要がある。 | 構想改定版(素案)では、**人口減少**や**少子高齢化**の進展が見込まれる中においても**健康で快適な生活**を**確保**するため、**コンパクト・プラス・ネットワーク**の考え方に基づき、災害リスクも踏まえ、住宅と医療・福祉・商業等の利便施設がまとまって立地するようゆるやかに誘導を図りつつ、公共交通と連携したまちづくりを推進することを掲げております。<br>P47「コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市へ」 |
| 16 | 都市部だけでなく周辺地域から都市部へアクセスしやすいことが、教育や生活の格差解消にもつながる。大学生にとってバスは重要であり、愛知県等から通う学生も含め、岐阜大学等への**アクセスの充実**が必要である。 | 構想改定版(素案)では、中心部、周辺部、郊外部**それぞれの特性を活かしながら**、路線バスとコミュニティバスを連携した**持続可能な公共交通ネットワーク**を構築し、都市全体の**活力**と**利便性**を高めることを掲げております。<br>P47「コンパクト・プラス・ネットワークによる集約型都市へ」 |
| 17 | 改定にあたっては、商工会議所や柳ケ瀬商店街等、民間との連携に関しても盛り込んでほしい。 | 構想改定版(素案)では、柳ケ瀬エリアにおいて、多様な人たちで**構成するエリアプラットフォーム**が中心となり、**官民の役割分担**をしながら、エリアの課題解決や新たな魅力の創出に取り組むことで、エリアビジョンの実現に向けたまちづくりを進めることを掲げております。<br>P49「センターゾーンにおける官民連携まちづくり」 |